

2026年5月11日

各位

会社名 株式会社 Veritas In Silico
代表者名 代表取締役社長 中村 慎吾
(コード番号: 130A 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 経営企画部長
郷田 恒雄
Email: ir@veritasinsilico.com

SpiroChem と Veritas In Silico、 mRNA 標的化合物の共同探索研究契約締結のお知らせ

SpiroChem AG (本社: スイス・バーゼル、CEO: Thomas Fessard, PhD、以下「SpiroChem」と表記) と当社 (以下「VIS」と表記) は、mRNA 標的化合物の共同探索研究の詳細について協議していましたが、このたび合意に至り、共同探索研究契約を締結いたしましたので、以下お知らせします。

この共同探索研究は、SpiroChem が誇る世界的水準のマクロサイクル、ペプチド、ペプチドなどの化合物に対する深い知見と、VIS の AI 駆動型 mRNA 標的創薬プラットフォーム aibVIS や細胞実験技術を融合させ、世界最新かつ最高峰レベルの mRNA 標的的低分子化合物医薬品の創出を目的とします。その研究成果は、将来的に共同で第三者へのライセンス供与ないし、共同開発等によって収益化を目指す方針です。

SpiroChem と VIS は、2026年1月26日付『[SpiroChem と Veritas In Silico、mRNA 標的化合物の共同探索研究に関する覚書締結完了のお知らせ](#)』でお知らせした覚書合意に基づき、mRNA 標的化合物に関する共同研究の実施内容等について協議を進め、このたび、その詳細について合意に至り、共同探索研究契約を締結いたしました。また研究活動と並行して、次の研究段階で行う共同研究の詳細についても両社協議を進める方針です。

この共同探索研究に関する SpiroChem と VIS の連名による発表は、次頁以降をご参照ください。

2026年5月11日

各位

SpiroChem AG
株式会社 Veritas In Silico

SpiroChem と Veritas In Silico、 mRNA 標的化合物の共同探索研究契約締結のお知らせ

スイス・バーゼル及び日本・東京にてー 2026年5月11日発表

株式会社 Veritas In Silico（以下「VIS」と表記）と SpiroChem AG（本社：スイス・バーゼル、CEO: Thomas Fessard, PhD、以下「SpiroChem」と表記）は、2026年1月に締結した覚書に基づき、mRNA 標的化合物の共同探索研究の詳細について協議していましたが、このたび合意に至り、共同探索研究契約を締結いたしましたので、両社連名にて以下お知らせいたします。



弊社代表 中村慎吾（左側）と握手を交わす SpiroChem CEO 兼創業者 Dr Thomas Fessard（右側）
スイス・バーゼルにて撮影

この共同探索研究は、SpiroChem が誇る世界的水準のマクロサイクル、ペプチド、ペプトイドなどの化合物に対する深い知見と、VIS の AI 駆動型 mRNA 標的創薬プラットフォーム aibVIS や細胞実験技術を融合させ、世界最新かつ最高峰レベルの mRNA 標的低分子化合物の創出を目的とします。両社は共同して有望な mRNA モチーフと相互作用する新規のマクロサイクル、ペプチド、ペプトイド、および Rule of 5^{*1} を超える新たな化合物の構造解析を探索する予定です。両社は、市場性の高い医薬品候補物質を生成し、RNA 認識における構造・活性相関の理解を深め、将来の創薬に役立つ設計基準の確立を目指します。

最初の研究段階では、事業開発と研究の観点から重要と目され VIS にて発見された、いくつかの mRNA 標的について、SpiroChem の化合物との結合評価を行います。また研究活動と並行して、次の研究段階で行う共同研究の詳細についても両社で検討を進める予定です。

なお、この共同探索研究にて得られた成果は、両社共同でバイオテック企業や製薬会社との提携やライセンス供与ないし、共同開発等によって収益化を目指す方針です。

● SpiroChem AG CEO Thomas Fessard, PhD コメント (英文コメント抄訳)

この提携は、VIS の先進的な RNA 構造解析・設計技術と、SpiroChem の複雑な医薬化学分野における卓越した能力を結びつけるものです。

SpiroChem は、化学的アプローチが成功の鍵を握るプロジェクトを推進することに注力しています。この文脈において、当社は単なる化合物の提供にとどまらず、初期仮説を実用的な化学物質へと転換するために不可欠な設計・最適化・データ生成をも提供いたします。

VIS の RNA 設計プラットフォームと当社の化学プラットフォームを融合させることにより、高品質な実験データを創出し、意思決定を導き、将来の開発および提携機会を支えることを目指します。

● VIS 代表取締役社長 中村 慎吾 コメント

SpiroChem が持つ優れた低分子化合物ライブラリ、メディシナルケミストリーへの深い知見と、当社の持つ豊富な RNA を標的とした創薬の経験が統合された AI 駆動型 mRNA 標的創薬プラットフォーム aibVIS との相乗効果によって、mRNA と化合物の新たな結合状態を評価し最適化させる強力な推進力となります。今回取り組む RNA 標的との結合実験によって、医薬品の創出につながることを期待できるだけでなく、RNA 構造とマクロサイクルの結合様式についても知見を得ることができます。こうした SpiroChem との密接な協力関係の下で、RNA を標的とする低分子医薬品を創出するための新たな方向性が明らかになることを期待しております。

● VIS の今後の業績に与える影響等

この契約締結に伴う契約一時金等の授受は予定しておりません。また VIS の 2026 年 12 月期の年度予算では、この共同探索研究に要する研究費用は織り込み済みで、今後の業績に特筆すべき影響は生じないものと見込んでおります。

今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

(ご参考) 用語解説

*1 **Rule of 5** : 1997年に米国ファイザー (Pfizer Inc.) の研究者 Lipinski 氏らが提唱した、経口投与可能な医薬品となる可能性が高い低分子化合物を予測するための経験則で、主に創薬初期段階に「薬らしい」性質を持つ化合物をスクリーニングする指標として利用されます。

具体的には「分子量 500 以下」、「脂溶性 (cLogP) 5 以下」、「水素結合ドナー (OH と NH の合計) : 5 以下」、「水素結合アクセプター (N と O の合計) : 10 以下」の4つの指標が「5」または「10」にちなむ値以下であることを基準としています。これら4項目のうち2つ以上を満たすと「薬らしい」性質を持つ化合物と扱われます。

以 上

[お問合せ先]

- SpiroChem AG 問合せメール : Email contact@spirochem.com
- Veritas In Silico ウェブサイト お問い合わせフォーム : <https://www.veritasinsilico.com/contact/>